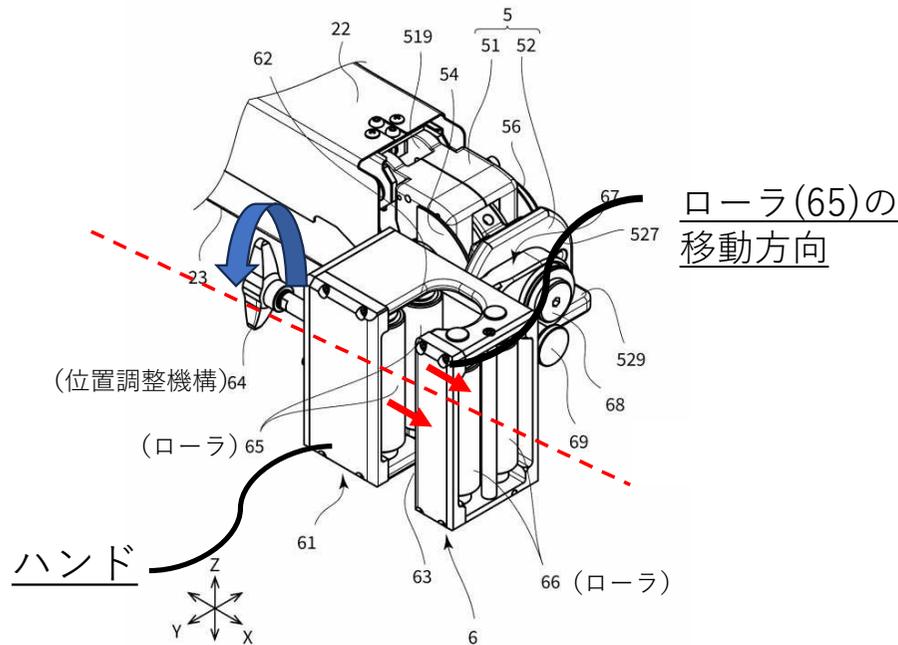


名称	<p>左右の切替で、作業が思い通りに。          (特許第7281517号 作業用補助装置)          株式会社ダイヘンとの共有</p>	許諾 条件	通常実施権 譲渡不可
発明の目的	<p>高所作業用の補助装置に取り付ける工具を、工具の径に関わらずしっかり保持することができ、かつ、取り外すことなく向き、姿勢を修正することができる作業用補助装置を提供すること。</p>		
導入のメリット	<p>①ハンドに取り付けたローラの位置を調整することで、工具の径によらずハンドに取り付けることができる。          ②ハンドを装置に対して回転できるようにしているため、工具を取り外すことなく、工具の向きや姿勢を調整することができ、また、作業の利き手によらず作業を行うことが可能。</p>		
アピール内容	<p>作業に用いる工具の径は、工具の種類や製造メーカー等により寸法が異なる可能性があり、場合によっては補助装置に取り付けることができないこともあります。また、装置に工具を取り付けた場合に工具の向きや、姿勢を修正する際に工具を取り外し、再度取付が必要な場合があったり、作業者の利き手とは逆の手で作業を行う場合などが発生します。          本装置は、ハンドに設けたローラの位置を調整することで様々な径の工具に対応でき、また、ハンドが装置に対して回転可能な構造とすることで姿勢等の調整を容易に行うと同時に利き手の問題を解決しています。本装置を使用することで工具への汎用性および作業性の向上を図ることができます。</p>		

## ◆アピールポイント

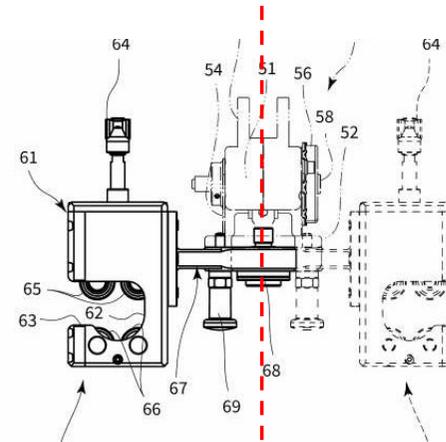
工具の径によらずしっかり保持できるハンド部と、ハンド部の回転によって操作性をUPすることができます。

### 【工具保持の機構】

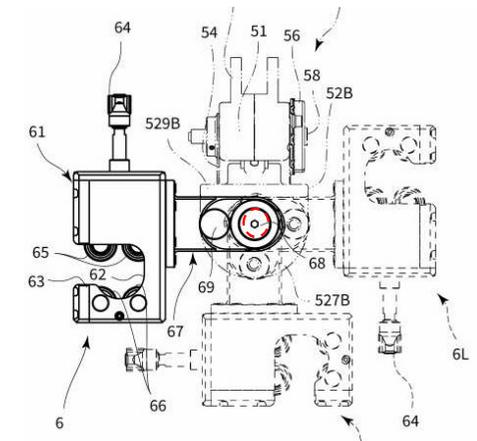


### 【ハンドの回転】

・回転軸を装置前後方向に平行

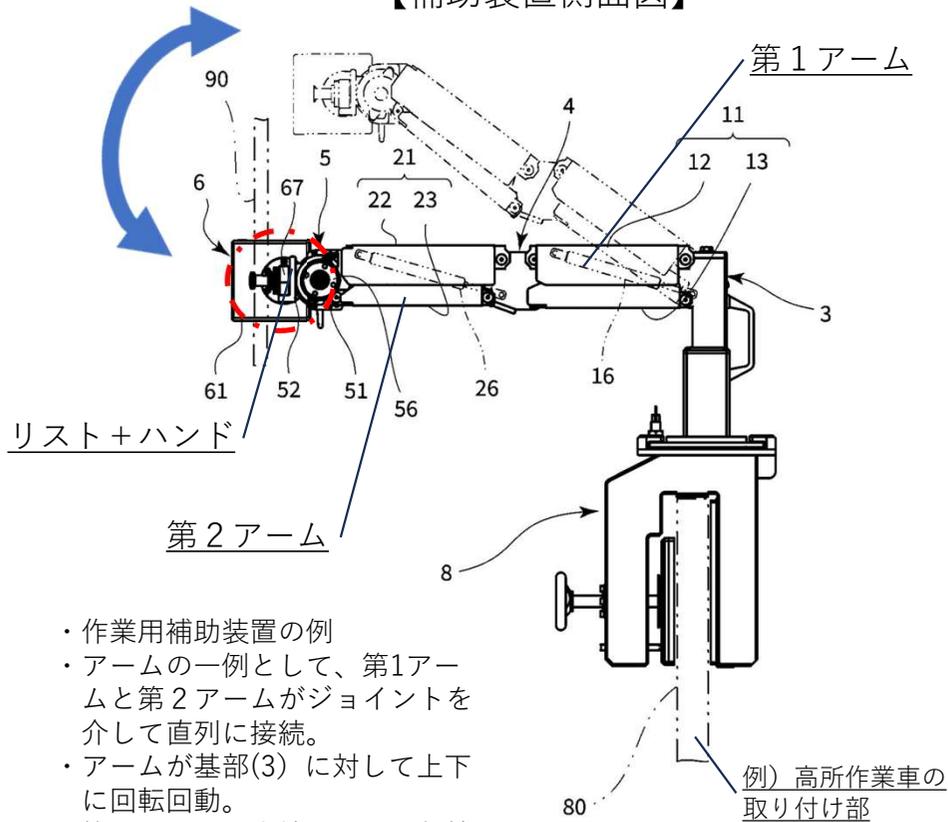


・回転軸を装置前後方向に垂直



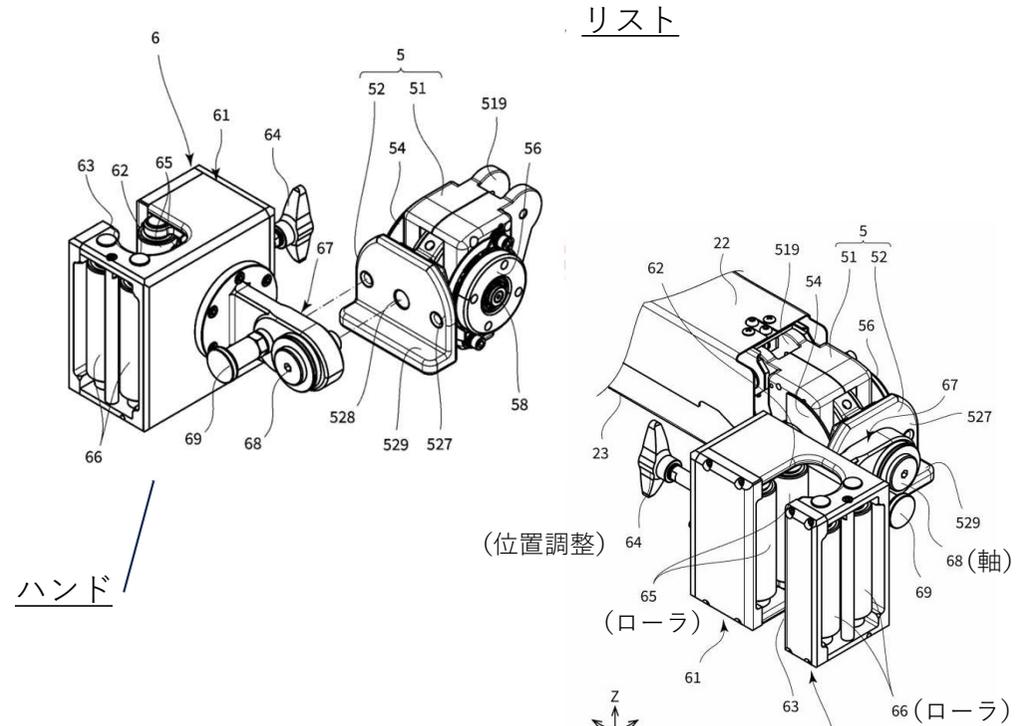
- ・工具はハンドに設けた切り込み(63)に収納して、4本ローラ(65、66)で保持します。
- ・ハンド後側のローラ(65)は位置調整機構を操作することで、ハンド前側に向けて移動します。ハンドは工具の径によらず工具をしっかり保持することができます。
- ・ハンドは軸に対して回転可能にすることで、工具を取り外すことなく姿勢向きを変更できるため作業性の向上を図ることができます。

【補助装置側面図】



- ・作業用補助装置の例
- ・アームの一例として、第1アームと第2アームがジョイントを介して直列に接続。
- ・アームが基部(3)に対して上下に回転回動。
- ・第2アームの先端に工具を保持するハンドを支えるリストを取り付ける。

【リストハンドの詳細】



- ・リストにハンドを取り付ける。ハンドは軸68を中止に回転可能。
- ・ハンドに設けた切り込み(62)に工具を挿入して、ローラ65と66で工具を保持する。
- ・ローラ65は位置調整機構64によって稼働可能となっており、工具の径に関わらずしっかりと保持することができる。

1 作業補助装置、3 基部、5 リスト部、6 ハンド部、11 第一アーム部、21 第二アーム部、51 リスト基部、52 リスト回動部、61 筐体、62 開口部、64 位置調整機構、65, 66 ローラ、68 ハンド回転軸、69 回転ロック機構、90 工具